



大洲高校 PTA 月報

令和5年11月号

会員寄稿

3年間のPTA活動

PTA監事 小泉 由紀

息子の中学の卒業式の日、「PTAの監事やってくれない？」と、声をかけてきた方がいました。当時のPTA会長さんです。突然のお話に驚きつつも、せっかく私に声をかけていただいたのだから、まあ、監査なら…と安請け合いをしてしまいました。よくよく聞いてみると、三役です。仕事もあるし、子ども達の送迎で忙しい日々…私に務まるのか不安に思いましたが、引き受けたからには、1年は務めなければと腹をくくりました。しかし、年に一度の監査のほかは、フォーラムや理事会、委員会に時々参加させていただいたり、藤樹祭の仮装行列や体育祭の応援、ダンスの審査員に入れていただいたり、文化祭で焼きそばを販売したりと、特に難しい活動があるわけではなく、逆に母校でPTA活動に協力できる楽しみの方が勝っているように思います。おかげさまで、そのま3年目を迎えてしまいました。

先日は、研修旅行に参加させていただきました。バスに乗り込んだ早々、車内に蚊が！空振りの私に代わり、総務研修委員長さんが、1発で仕留めてくれました。拍手！！車内に一体感が生まれたところで、高知県に向けて出発！新鮮な魚介類などを堪能し、桂浜を散策しました。車内でも食事中も、保護者はとにかく情報交換。特に、我が家にとっては初めての受験生なので、兄姉がいるご家庭の経験談を色々とお話いただき、貴重な時間でした。どこに行っても、たくさんの外国人の方々にお会いしました。まさか、高知県にこんなに外国人観光客が来られているとは、思ってもみませんでした。最後に立ち寄ったのは、雲の上のホテル別館マルシェ・ユスハラの中にあるまちの駅「ゆすはら」。世界的建築家の隈研吾氏による設計で、1階から3階まで吹き抜けとなっており、広い空間に木のぬくもりが感じられる森のコンセプトにぴったりの空間でした。建物の正面側に使用され、存在感のある茅（かや）は、通気性・断熱性に優れているため、自然の力によって快適な室内環境を創っているそうです。ちょっとおしゃれなまちの駅で休憩をとり、帰路につきました。

今回の研修旅行は、校長先生をはじめ、先生方6名、保護者8名と少人数でしたが、久しぶりに日常の慌ただしさから解放され、参加されたみなさんと楽しい時間を過ごさせていただきました。来年は参加されてみませんか。日常生活では感じられない新しい発見があると思いますよ。

さて、3年生のみなさんは、いよいよ受験ですね。「受験は団体戦です。」入学した頃、先生がおっしゃっていたこの言葉が、強く印象に残っています。一人ひとりの目標は違うと思いますが、全員が自分の希望の進路に進めるように、団結してがんばりましょう！